

みんなの健康ラジオ

『まぶたピクピク、眼瞼のけいれん』

(2022年7月14日放送)

横浜市眼科医会

JCHO横浜中央病院

寺田 久雄

眼瞼の「けいれん」

(前回のおさらい)

- 「まぶた」は、眼瞼と言います。顔の運動は顔面神経支配です。
- 「けいれん」は、無意識に筋肉の収縮が起きることです。
- よく「まぶたがピクピク」することがありますが、多くは医学用語の「眼瞼けいれん」ではありません。
- 眼瞼にけいれんの起こる病気には主に次の4つです。
 1. 眼瞼ミオキミア
 2. チック
 3. 片側顔面けいれん
 4. 本態性眼瞼けいれん



1. 眼瞼ミオキミア

2. チック

(前回のおさらい)

1. 眼瞼ミオキミア

- 多くは下のまぶたがピクピクと不随意に収縮をしている状態です。通常は片目に起こり、数秒から数分で自然に軽快しますが、また再発をすることが多いです。
- 目の周りを温めたり、冷やしたりして目を休ませる、カフェインやお酒の摂取を減らして、スマホや仕事などもこまめに休息をとることが改善につながります。
- 多くの人が経験するまぶたのピクピクは、眼瞼ミオキミアで、心配するものではありません。

2. チック

- 子どもの瞬きが多くなる状態で、よく見られますが、たいていは徐々に改善していきますので、安心して見守ってあげてください。

3. 片側顔面けいれん

原因：顔の表情を支配する顔面神経が脳の近くを走る動脈に触れることで、顔面のどちらか片側だけにけいれんが起きます。

- 片側顔面けいれんによくみられる症状

- ☒ 目を開けているのがつらい
- ☒ 意思とは関係なく片目をつぶってしまう
- ☒ まぶたや口元がピクピクする
- ☒ 顔が引きつったり、こわばってゆがんでしまう。

年齢：50～70歳代の、特に女性（約7割）に多くみられます。

治療：視力に影響はしませんが、ゆっくりと進行していきます。

- 症状を改善する治療には「ボツリヌス療法」があります。
- それ以外に脳神経外科で手術が行われる事もあります。

4. （本態性）眼瞼けいれん

原因：脳の深部のまばたきをコントロールしている部位の障害です。
睡眠薬や抗精神病薬などの服用が原因になったり、ストレスが悪化につながることもあります。

- 眼瞼けいれんでよく見られる症状

- ☒ しよぼしよぼ、目が乾く感じ
- ☒ ドライアイの症状に似ているが点眼ではよくならない
- ☒ 光がまぶしい
- ☒ 意思とは関係なく目をつぶってしまう
- ☒ 自然なまばたきができない

年齢：50～70歳代の中高年の女性（約7割）に多くみられます。

診断：症状やまばたきをリズムカルにできない（瞬目テスト）などから行います。CTやMRI等では、異常は認められません。

治療：視力に直接影響はしませんが、ゆっくりと進行していきます。

- 症状を改善する治療には、「ボツリヌス療法」があります。
- それ以外にも内服や手術が行われる事もあります。

症状改善には「ボツリヌス療法」

ボツリヌス毒素：食中毒の原因菌であるボツリヌス菌によって産生される神経毒です。神経と筋肉の間の伝達を遮断することによって、筋肉の麻痺をきたします。非常に強い毒性があり、生物学的兵器として開発された経緯があり、法律で取り扱いが決められています。

方法：ボツリヌス毒素（ボトックス®）を眼の周囲や口元に4～12か所に少量（0.05～0.1ml）を注射することで、過剰な筋収縮を抑える治療です。

有効性：70%以上の患者さんで症状の改善が得られます。

注射後3カ月程度は効果が持続しますが、徐々に効果が消失します。

副作用：全身の副作用はほとんどありませんが、効きすぎるとしばらくの間、目が閉じることができずに目が乾いたり、まぶたが下がったりすることがあります。

費用：高価な薬ですので、健康保険の3割負担でも14,000円程度です。個人差もありますが、定期的な再注射が必要となることが多いです。

実施施設：講習を受けた医師のいる施設（眼科、脳神経外科、脳神経内科、ペインクリニック等。）で治療が受けられます。